

我が町再発見 槻川堤の彼岸花 まんじゅしゃげ (曼珠沙華)



咲き誇る曼珠沙華

槻川日の出橋上流は、春は42本の桜に憂い、秋は幅5.5メートル、長さ80メートルにわたる深紅のじゅうたんを敷き詰めたかのような曼珠沙華が咲き誇ります。改修された堤を散策される方々は、自然の恵みを、目から空気から大いに満喫することでしょう。13年前に町からの助成金を有効活用する方法で、この堤にしっかりと根を張る「曼珠沙華」を考えて植えたのがきっかけでした。多くの方が季節を通して憩いの場として活用できるよう、今では、地域の役員・ボランティアの方々が年に5回、雑草の刈払いやごみ拾いをし大切に管理しています。



増尾区長 鳥田勝明 しまだ かつあき



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑤

「配食サービスの主役」 手渡して見守りも一緒に届けます

一人暮らしや高齢者世帯で買い物・食事づくりが困難な方へ昼食を自宅にお届けし、手渡しすることによって安否など元気かどうか見守りをし、高齢者の安全安心を守っています。

今回は、ボランティアでお年寄りの見守り活動をしているボランティアグループ「かぼちゃの会」の奈良文次郎さん・島田豊治さんに伺いました。



いから、早く元気になるよう頑張りたい」という人もいます。

Q どんな活動をしているのですか？

A 2人1組で1日約20食をお年寄りへ配食し、食べた後の回収をしています。寝ている人には、枕元まで持って行きます。

Q 活動しながら感じたことは？

A 配食を待っている人がほとんどです。努めて言葉をかけて安否を見ます。お年寄りは話がしたがっているのが分かります。「配食サービスの人に悪

Q 高齢者の見守りで気づいたことは？

A 手渡ししながら、その人の健康状態が食事を残したかどうかで分かります。

担当：小林一雄

編集後記

今年の夏は暑い日が多く、9月になっても残暑が続きましたが、道端のススキの穂が日々秋の深まりを感じさせます。晴れた空は高く澄み渡り、まさに「天高く馬肥ゆる秋」。

第3回定例会は9月21日に閉会となり、3回の

編集会議を経て、皆さんのお手元に。広報委員は議会で審議された内容を簡潔に的確に要約して、皆さんが「分かりやすく、親しみやすい」広報づくりを基本とし、多くの皆さんに愛読されることを期待しています。

編集委員 柴崎 勝

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

議会だより おがわ No.65

小川町議会だより 65号
平成24年11月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長 松本 修三
委員長 柳田多恵子
副委員長 山口 勝士
委員 小林 一雄
委員 柴崎 勝
委員 大戸 久一
委員 高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会の開会予定は

12月4日(火)です